

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人東松山市学童保育の会 児童デイサービスほほえみクラブ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の就労支援に特化しており、同じ地域で他事業所にはない8時間を超える保育時間を提供している。そのため、共働きのご家庭でも放課後等デイサービスを利用しながら仕事を続けることができる。また、人員配置も国の基準の倍の人員を配置しており、利用者本人だけでなく、家族を含めた保育中の安全や安心感につながっている	送迎(自宅への)を行わない代わりに保育時間を長く確保しています。希望がある場合は朝7時30分から開所し、児童の受け入れを行っています。また、就労だけでなくご家族のレスパイトなどで利用してもらえよう、積極的に利用の案内を行っています。	必要に応じて個別に送迎サービスの実施(自宅へ)の検討を行う。また、職員の配置については国の基準を大幅に上回った配置を実現しています。更なる専門性の向上についての研修機会を増やしていく。また、虐待防止と権利擁護のために、権利主体としての児童の視点に立てるよう実践を振り返るなどの取り組みも継続していく。
2	老朽化による耐震性など安全面に関する不安。	賃貸施設のため、建物の耐震工事やリフォームなどについては貸主の意向・許可の確認が必要となる。2027年度には移転を予定しているため、耐震性や老朽化といった部分は大きく改善される予定。	現在、貸主からは移転を求められ移転を猶予されている。2027年度の目指して移転に関する様々な課題や問題を見つけ、職員だけでなく、利用児童やそのご家族、保護者の皆さまと協力して事業所の移転問題に取り組んでいる。

3	施設内の段差や設備などのバリアフリーに関する課題	賃貸施設のため、建物の耐震工事やリフォームなどについては貸主の意向・許可の確認が必要となる。	貸主からは移転を求められた経緯があり、移転へ向けた取り組みを行っている。移転後は耐震性や老朽化といったことのほか、バリアフリーに関する部分も大きく改善される予定。
---	--------------------------	--	---

r

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないことで、送迎を希望する方の場合には当法人の利用について、選択肢から外れてしまう。送迎について個別に対応することが出来れば強みに変わると考えられる。	就労支援に重点を置いており、保育時間を優先しているため、ご利用者本人・ご家族への聞き取りを含め、営業時間の見直しを行うなどいくつかの課題を解決した上で、送迎サービスの実施するかを考慮しなければならない。	それぞれのニーズに合わせた事業形態が展開できると良いが、1つの事業所で両方のニーズに応えるにはより多くの人員の確保が必要となる。
2	老朽化による耐震性など安全面に関する不安	賃貸施設のため、建物の耐震工事やリフォームなどについては貸主の意向・許可の確認が必要となる。	貸主からは移転を求められており、2027年度に移転を行う予定となっている。
3	施設内の段差や設備などのバリアフリーに関する課題	賃貸施設のため、建物の耐震工事やリフォームなどについては貸主の意向・許可の確認が必要となる。	貸主からは移転を求められており、2027年度に移転を行う予定となっている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人東松山市学童保育の会 児童デイサービスほほえみクラブ

公表日 令和8年3月19日

利用児童数 17名 (2026年3月1日現在)

回収数 15/16世帯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	0	職員さんの人数が増えると1人1人の職員さんの負担が減るのではないかと感じました。	常勤の児童発達支援管理責任者が1名、常勤換算で2名の児童指導員が配置されていれば、基準を満たしていると考えられています。基準より多い4~6名の配置が出来るように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3	0	1	おやつを食べる部屋と活動の部屋が分かれているのは良いと思いますが、入口の段差は高いと思います。	現在の建物は賃貸のため、まずは所有者である貸主へ相談・改善の許可を出していただけるように努めます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	2	0	1	環境（自然豊か）的に住方ないことなかもしれませんが、テラスに砂、土埃が多いのでしょうか。靴下の汚れがすごいです。元気に遊んでいて靴が汚れるのは構いません。元気に遊べた証拠だと思っています。	申し訳ございません。室内やテラスは屋外怪我の防止だけでなく、汚れ防止のため靴下で歩かないようお話しています。引き続きおこさまへの丁寧な説明や声掛けを行ってまいります。
適切な 支援の 提	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	1	常勤の指導員さんはとても専門性があると思います。その専門性が保育に関わる全職員さんにあるかはわかりません。	常勤以外の職員にも内部研修や教育の機会を作っております。引き続き安心してご利用いただけるよう全職員の専門性の獲得に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1		

供

9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1		
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	0	0	1		

保護者への説明等

12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	1		
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	1		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	0	5		
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	0		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1	1		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	0	0	1	保護者会の開催時期や回数、方法など一度検討しても良いかと思えます。報告のみならオンラインで開催などでも良いかと思えます。兄弟児同士の関わりが生まれるのは素敵だと思えます。兄弟児と通所児童の関わりがもてるのも素晴らしいと思えます。	ありがとうございます。引き続き保護者の皆さまやきょうだい、家族同士の交流の場となるように努めます。保護者会の開催方法についてはあくまで保護者主体の会のため、恐れ入りますが保護者会で皆さまにご提案いただけると幸いです。円滑な保護者会の運営や行事のために必要な支援を職員が行います。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	1	写真入りの通信は子どもと一緒に見ることができ、楽しいです。行事からあまり期間が開かないと子どもと共有しやすいので嬉しいです。	ありがとうございます。保護者さまだけでなく、ご家族で楽しんでもらえるようなお手紙（通信）などが発信出来るよう今後も努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	1	今のところ、事故は発生していないので	ありがとうございます。引き続き事故が起きないよう努めます。万一の場合は迅速に対応し、保護者さまへのご連絡・ご説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 NPO法人東松山市学童保育の会 児童デイサービスほほえみクラブ

公表日

令和8年 3月 19日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	発達支援室のほか保育室があり、十分なスペースがあります	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	常時4~6名の配置を心がけています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		段差のある場所がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	支援開始前、毎日必ず清掃時に消毒を行っています。支援開始後にも必要な清掃を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	静養室など児童が利用できる個別の部屋を確保しています	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	ミーティング等の会議の場で実施しています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	毎日のミーティングで各職員より報告・相談を受けて検討・改善しています	

9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	第三者評価委員を青い鳥福祉会理事に委嘱しています。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	部内で研修会の実施しています。また、外部研修の案内や周知し、参加を促しています	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1		
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	ミーティングの他に毎月実際の事例などをもとに振り返りを実施しています	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	施設への訪問の他、担当者会議への参加などを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	担当者会議で卒後の引き継ぎが行われるケースが多いです。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	法人内の放課後児童クラブと連携し、合同の行事に参加できる機会を設けています	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	法人として東松山市自立支援協議会に委員を選出しています。(令和5年度はさくらやまクラブ正規指導員1名を選任しました)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	お迎え時に利用中の様子についてなどの報告の他にご家庭の様子や困りごとなどについて話を伺っています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	保護者が参加できる研修やイベント、コミュニティのチラシを掲示・案内しています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用前に施設の見学を行っていただくようにご案内しています	利用される方へサービスの仕組みなどについてなど、制度についてより詳しい案内が出来るように努めます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	定期的に保護者会を開催し、保護者会行事を企画・実施して利用中の保護者やその姉弟なども含め交流できるように努めています	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	てんかんや持病等に関する記録簿を作成し、対応を行っています。発作時などは詳細を記録するなどの対応を行い、主治医などへ情報を提供出来るようにしています	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	医師の指示書がなくても食物アレルギーに関しては個別に除去などの対応を行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		ご家族が理解しやすいように、より詳しく説明に努めます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ミーティング等で共有できるようにしています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を設置し、内部研修を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束適正化委員会にて検討を行い、必要な場合には支援計画書へ記載、記録の作成をおこないます。また、実施前には本人・ご家族への説明を行います	